平成29年度壱岐市立勝本小学校
第5学年
国語科教材別指導事項対応表

				4月					5月					6月				7月		書写						9月				10月		11月				12月					書写						1月				2月			3月				書写			
				教えてあなたのこと	ふるさと あめ玉 五年生の学習に生かそう	なまえつけてよ	漢字の広場①	春の空	新聞を読もう	漢字の成り立ち	見立てる 生き物は円柱形	漢字の広場②	古典の世界（一）	きいて、きいて、きいてみよう	敬語	千年の釘にいどむ 読書「コラム」著作権について	漢字の広場③	夏の夜	次への一歩―活動報告書	穂先の動きと点画のつながり1	穂先の動きと点画のつながり2	すばやく書き留めるために	「もっと知りたい」自分の文字を見つめる	筆順と字形	一学期合計	からたちの花	カンジー博士の暗号解読	日常を十七音で	和語・漢語・外来語	明日をつくるわたしたち「コラム」意見が対立したときには	漢字の読み方と使い方	大造じいさんとガン	漢字の広場④	秋の夕暮	天気を予想する「コラム」グラフや表を読む	グラフや表を用いて書こう	同じ読み方の漢字「コラム」文の組み立て	百年後のふるさとを守る	古典の世界（二）	分かりやすく伝える	部分の組み立て方1	部分の組み立て方2「もっと知りたい」手書き文字と活字	文字の配列	用紙に対する文字の大きさ	筆記用具の選たく	二学期合計	詩の楽しみ方を見つけよう	想像力のスイッチを入れよう「コラム」直接対面しない相手とのやり取りでは	漢字の広場⑤	見るなのざしき	すいせんします	複合語	冬の朝	わらぐつの中の神様「コラム」方言と共通語	一枚の写真から	漢字の広場⑥	六年生になったら	書きぞめ	5年生のまとめ	三学期合計	年間合計
時数				1	3	4	1	2	3	2	7	1	2	6	2	5	1	2	10	3	3	2	1	1	62	1	2	3	2	14	2	7	1	2	6	6	2	7	1	3	5	1	2	3	1	71	2	6	1	1	6	2	2	7	5	1	1	4	4	42	##
話すこと・聞くこと				1										6											7					6																6					6			1						7	20
書くこと							1	2				1					1	2	10						17			3		8			1	2		6	1			2						23			1				2		5	1	1			10	50
読むこと					2	4			3		7					5									21	1						7			6			7								21	2	6		1				6						15	57
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項					1					2			2		2					3	3	2	1	1	17		2		2		2						1		1	1	5	1	2	3	1	21						2						4	4	10	48
話すこと・聞くこと	話題設定や取材	ア	考えたことや伝えたいことがらなどから話題を決め，収集した知識や情報を関連付けること。											○											○																																				○
	話すこと	イ	目的や意図に応じて，事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら，場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。	○																					○																										○									○	○
		ウ	共通語と方言との違いを理解し，また，必要に応じて共通語で話すこと。																																																			○						○	○
	聞くこと	エ	話し手の意図をとらえながら聞き，自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。											○											○																					○															○
	話し合うこと	オ	お互いの立場や意図をはっきりさせながら，計画的に話し合うこと。																											○																○															○
	言語活動例	ア	資料を提示しながら説明や報告をしたり，それらを聞いて助言や提案をしたりすること。																																																										
		イ	調べたことやまとめたことについて，討論などをすること。																																																										
		ウ	事物や人物を推薦したり，それを聞いたりすること。																																																●									●	●
書くこと	話題設定や取材	ア	考えたことなどから書くことを決め，目的や意図に応じて，書く事柄を収集し，全体を見通して事柄を整理すること。					○										○							○					○				○												○							○				○			○	○
	構成	イ	自分の考えを明確に表現するため，文章全体の構成の効果を考えること。																○						○																														○					○	○
	記述	ウ	事実と感想，意見などを区別するとともに，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。																○						○																																				○
		エ	引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書くこと。																																	○										○															○
	推敲	オ	表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。				○					○					○								○			○					○							○						○			○							○				○	○
	交流	カ	書いたものを発表し合い，表現の仕方に着目して助言し合うこと。					○										○							○									○												○							○							○	○
	言語活動例	ア	経験したこと，想像したことなどを基に，詩や短歌，俳句をつくったり，物語や随筆などを書いたりすること。					●																	●																														●					●	●
		イ	自分の課題について調べ，意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。																●						●											●										●															●
		ウ	事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。																																																										
読むこと	音読	ア	自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。																						○	○					○															○	○													○	○
	効果的な読み	イ	目的に応じて，本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。						○																○																					○															○
	説明的な文章	ウ	目的に応じて，文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり，事実と感想，意見などとの関係を押さえ，自分の考えを明確にしながら読んだりすること。								○														○										○											○														○	○
	文学的な文章	エ	登場人物の相互関係や心情，場面についての描写をとらえ，優れた叙述について自分の考えをまとめること。			○																			○							○														○				○				○						○	○
	自分の考えの形成及び交流	オ	本や文章を読んで考えたことを発表し合い，自分の考えを広げたり深めたりすること。																																			○								○		○												○	○
	目的に応じた読書	カ	目的に応じて，複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。													○									○																																				○
	言語活動例	ア	伝記を読み，自分の生き方について考えること。																																			●								●															●
		イ	自分の課題を解決するために，意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。																																																										
		ウ	編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと。						●																●																																				●
		エ	本を読んで推薦の文章を書くこと。																						●																																				●
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	（1）ア 伝統的な言語文化	ア	親しみやすい古文や漢文，近代以降の文語調の文章について，内容の大体を知り，音読すること。																																				○							○															○
		イ	古典について解説した文章を読み，昔の人のものの見方や感じ方を知ること。										○												○																																				○
	（1）イ 言語の特徴やきまり	ア	話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。											○											○																																				○
		イ	時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。										○												○																																				○
		ウ	送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。																																																	○								○	○
		エ	語句の構成，変化などについての理解を深め，また，語句の由来などに関心をもつこと。																										○																	○															○
		オ	文章の中での語句と語句との関係を理解すること。			○					○														○																					○															○
		カ	語感，言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつこと。																																					○						○															○
		キ	文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。		○																				○																																				○
		ク	日常よく使われる敬語の使い方に慣れること。												○										○																																				○
		ケ	比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。																							○																												○							○
	（1）ウ 文字	ア	第5学年及び第6学年の各学年においては，学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また，当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うとともに，当該学年に配当されている漢字を漸次書き，文や文章の中で使うこと。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○○	○	○	○	○						○	○	○	○	○	○○	○	○	○	○	○	○			○	○
		イ	仮名及び漢字の由来，特質などについて理解すること。							○															○																																				○
	（2）書写	ア	用紙全体との関係に注意し，文字の大きさや配列などを決めるとともに，書く速さを意識して書くこと。																			○	○	○	○																	○		○	○	○												○	○	○	○
		イ	目的に応じて使用する筆記用具を選び，その特徴を生かして書くこと。																																										○		○	○												○	○	○	○
		ウ	毛筆を使用して，穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。																	○	○				○																○			○		○												○	○	○	○